

令和 7 年度 第 1 回稲敷市入札監視委員会 審議概要

|                                  |                                                                                              |
|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時                             | 令和 7 年 7 月 30 日（水）午後 2 時 00 分から                                                              |
| 開催場所                             | 稲敷市役所 4 階 委員会室 1                                                                             |
| 委 員                              | <p>委員長 祐川 直己 氏（弁護士）</p> <p>鴻田 利雄 氏（元地方公務員）</p> <p>中村 道子 氏（公認会計士・税理士）</p> <p>木内 卓 氏（司法書士）</p> |
| 審議対象期間                           | 令和 6 年 10 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日                                                              |
| 審議案件                             | 6 件                                                                                          |
| 一般競争                             | 1 件                                                                                          |
| 指名競争                             | 2 件                                                                                          |
| 随意契約                             | 3 件                                                                                          |
| 委員からの<br>意見・質問、<br>それに対する<br>回答等 | 別紙のとおり                                                                                       |

別紙

事案 1：和田公園管理施設整備工事

【抽出理由】一般競争入札の中で落札率が最も高い為。

| 主 管 課                                                                                 | 建設課                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発 注 方 法                                                                               | 事後審査型一般競争入札                                                                                                                                                                             |
| 入 札 日                                                                                 | 令和 6 年 10 月 24 日                                                                                                                                                                        |
| 入札参加者数                                                                                | 5 者                                                                                                                                                                                     |
| 予 定 価 格                                                                               | 39,688,000 円（税込）                                                                                                                                                                        |
| 最低制限価格                                                                                | 36,014,000 円（税込）                                                                                                                                                                        |
| 落 札 金 額                                                                               | 36,311,000 円（税込）                                                                                                                                                                        |
| 落 札 率                                                                                 | 91.49%                                                                                                                                                                                  |
| 質問・意見                                                                                 | 回答                                                                                                                                                                                      |
| <p>P9 の特記仕様書を見ると、6.建設発生土、産業廃棄物関係の部分に市にストックヤードがあると記載があるが、他自治体でも、独自でストックヤードがあるのですか。</p> | <p>建設課で管理しているストックヤードは 3 箇所ございます。江戸崎地区の江戸崎工業団地内や江戸崎学校給食センター付近、東地区の生涯学習センター付近の 3 箇所を利用している形となります。加えて、県でもストックヤードはありますが、中々利用できないこともあり、そのうえ、県西地区と距離が遠い場所となっており、費用の面を考えて、現在、市では利用しておりません。</p> |
| <p>市のストックヤードの場合、無料なのですか。</p>                                                          | <p>おっしゃる通りです。敷地については、稲敷市の所有の土地なので、無料になります。</p>                                                                                                                                          |
| <p>ストックヤードの余力はあるのですか。</p>                                                             | <p>あまり余力はない状態です。以前、市内における会議で、新たなストックヤードの必要性について、検討している状況です。</p>                                                                                                                         |
| <p>P1 と P15 を見比べると、入札参加者数は 5 者ですが、実際に、最低制限価格を上回らないのが 4 者となり、上回った 1</p>                | <p>予定価格から算定された最低基準価格である 110 分の 100 の額に、当日に決定したランダム係数を乗じた 100 分の 110</p>                                                                                                                 |

者が落札したということですが、最低制限価格の決め方の説明をお願いします。

ランダム係数を掛ける幅は、どのくらいになっているのですか。

以前までのランダム係数を適用していない案件については、落札率が高いもしくは低いという理由で選定するのは、問題ないと思いますが、今回のようなランダム係数が適用されている場合で、落札率を理由に選定するのは、適切ではないと感じます。委員が選定する際に、今回同様の案件が分かりやすいように、資料となる一覧表にランダム係数を記載するよう工夫して作成頂いた方がいいと思います。

5 社が入札参加して、4 社が基準価格を上回れなかったということでしたが、予定価格は事前公表となっていることから、自動的に最低制限価格のランダム係数をかける前の金額までは、入札に参加される事業者の方は念頭に置かれることになると思います。あとは、ランダム係数により、変動する最低制限価格の上下のどの部分に札入れをするかということになると思います。このことを踏まえて、P15 の入札結果を見ると、1 者目と 2 者目の入札金額がランダム係数を掛ける前の税抜きの最低制限基準価格を下回っています。これは、結果として 4 者が最低基準価格を下回ってしまったのか、逆に、最低基準価格を下回るということを認識した上での、札の入れ方だったのかとい

を乗じた額となっております。

最も低い数値が「0.9950」、高い数値が「1.0049」となっており、縦軸 A～J、横軸 1～10 の 100 通りとなっております。

次回から、ランダム係数の数値を記載する形で作成させていただきます。

A-1～C-3 (0.9950～0.9972) の範囲のランダム係数であった場合、1 者目と 2 者目も最低制限価格より上回る形となっています。

う部分が疑問になるかと思います。後者の場合、入札には参加するが、基準価格を下回る金額を入れるという意思表示に何か意味があるのかなと思い質問致しました。

逆に言うとランダム係数の 100 通りの一番下が出ない限りは下回るということですよ。

実際に受注した際の利益率との関係等で、応札金額を低くすればする程、基準価格を下回る確率が高まってしまいが、その利益率とのぎりぎりのせめぎ合いのどの部分かというのを検討した結果と考えられるということですか。

先程の意見を受けまして、5 者とも最低制限価格を意識して算出しているというのは、そもそも想定していた予定価格がもう少し低く、それに伴い最低制限価格が低かった場合、各者の金額にも差が生じていたのではないかと思います。予定価格が高止まりしているということはありませんか。

落札業者の内訳書と設計書を見比べると、落札業者は一般管理費が 4,534,648 円

ランダム係数はくじ引きとなりますので、こちらの予想となってしまいますが、入札参加業者が設計する際に、ランダム係数の値を予想して、金額を算出し、札を入れている形も考えられると思います。加えて、先程説明した通り、A-1~C-3 (0.9950~0.9972) の範囲のランダム係数が安い金額で落札できることから、この範囲のランダム係数を予想し、入札金額を算出したのではないかと考えております。

そのような要因もあるかと思います。

予定価格は、あくまで積算での価格となりますので、高止まりしているとは思いません。

建設課の積算に関しては、県の労務単価を使用し、積算のシステムで行ってお

となっているところ、設計書の一般管理費は、5,933,525 円となっています。落札業者の方が 139 万円程プラスになっており、現実よりも、高い金額になっていると思います。この部分に関しては、いかがでしょうか。

工事費の計算はそれぞれの工事の内容に応じて算出し、それに係数を掛けて、共通仮設費や現場管理費、一般管理費は算出しているということですか。

この割合というのは、すでに決められていて、それを変えるわけにいかないということですか。

それは、条例等で定められている形ですか。

設計書の共通仮設費の部分ですが、「 $20,505,711 \times 0.1136$ 」となっていますが、直接工事費計と少し異なるようですが、これはなぜでしょうか。

P15 の入札結果についてですが、3 番目の参加業者の摘要欄に「無効」となっています。どういう原因で無効になったのか、教えて頂けますか。

りますので、積算に関しては、これは変えられない部分がございます。

おっしゃる通りです。

おっしゃる通りです。一般管理費等の経費率については、工事費により、定められた計算式によって経費率が算出されますので、その部分については、変えられない形となります。

建設工事に関する「設計積算基準及び標準歩掛」がございまして、そちらに詳細部分について記載されており、定められている形になります。国で定められたものを県・市町村でも踏襲している形になります。

処分費が、直接工事費+処分費の 3%を超える場合には、共通仮設費の対象から 3%を超えた分が控除されます。設計書で見ると、「スクラップ費」などの摘要欄に「処分費等・対象外」と記載がある項目が該当する形となります。

取りおり制度を適用しておりますので、この工事の前に開札があった工事を落札した為、無効扱いとなっております。

先程、委員から意見があったように、予定価格の定め方について、実際の入札金額と関係性という部分に関しては、毎回同じような議論になるところだと思います。何故、同様の議論になるのかというと、おそらく、市民から見ると非常にわかりづらい部分になるからだと思います。制度として、予定価格を恣意的に決めてはいけないということで、基準に則って行わなければいけないというように決まっております、それに基づいて市では予定価格を定めるということでした。それに対して、業者も積算ソフトを持っており、非常に正確な入札金額を算出でき、それに加えて、ランダム係数の範囲内での価格競争という非常に狭い範囲での勝負になってきているというのが現実だと思います。ただ、市民の目から見た時に、端的に国の価格、県の基準単価に沿っているからといっても、市民が考える金額と異なっていて問題がないのかという部分は、率直な疑問を持つところだと思っています。このような市民の疑問点に対して、細かく、分かりやすい説明ができることを念頭に進めていただければと思います。

| <p>事案 2：令和 7 年度江戸崎総合運動公園体育館トレーニング室管理業務（長期継続契約）</p> <p>【抽出理由】落札率が高い為。長期継続契約である必要性を伺いたい為。</p>                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>主 管 課            スポーツ振興課</p> <p>発 注 方 法        指名競争入札</p> <p>入 札 日            令和 7 年 3 月 4 日</p> <p>指名業者数        8 者</p> <p>入札参加者数      8 者</p> <p>予 定 価 格        16,841,000 円（税込）</p> <p>落 札 金 額        16,500,000 円（税込）</p> <p>落 札 率            97.98%</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 質問・意見                                                                                                                                                                                                                                                           | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| <p>長期継続契約の意味合いについての確認ですが、本業務については、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの期間に業務を行うというのが 1 つの意味で、来年以降もそれを継続していくという認識の契約なのですか。</p> <p>では、長期継続契約といってもこの 1 年間の契約という意味ですか。</p> <p>長期継続契約という定義はどのように定められているのですか。</p>                                                        | <p>本業務は、単年度の入札となります。</p> <p>おっしゃる通りです。ただ、4 月 1 日から、年間通じて業務がある為、すぐに業務を行えるように、3 月中に契約締結を行い、1 日から履行できるような形で、長期継続契約となっております。</p> <p>「単年」・「長期」という形となっており、履行開始する年度の前年度中に契約を締結し、実際に業務開始は 4 月 1 日から、行う形の契約となります。今回は、令和 7 年 1 月に契約措置要求決議書（以下「要求決議書」）を提出し、3 月 4 日に入札を行い、翌日の 5 日に契約締結という形になります。早い案件だと、令和 6 年 12 月に要求決議書を提出し、1 月～2 月に契約締結を行うこともございます。早い期間</p> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>予算の対象としては、単年度分の4月1日から3月31日ですが、契約の期間は、前年度の3月5日からということで、少し前から始まる形となるということで、「長期継続契約」というのは、単年度1年を超える期間が経過するものについては、「長期継続契約」と呼ぶという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>入札参加業者数が8者ということでしたが、落札業者は入れ替わっている等はあるのですか。</p> <p>この10年間は同一業者が請負っているとの事ですが、人件費等の単価は毎年変えているのですか。</p> <p>先程、人員の確保の為に早い時期に契約を行うとの説明がありましたが、個人的に、3月の時期では遅いのではないかと考えます。人員の確保といっても、業者側での人員の割り振り等や場所・物の確保も必要となってくる場合もあると思います。このような事に対応できるよう、もっと早い時期に契約締結を行えばいいのではないのでしょうか。加えて、参加業者が8者いる中で、価格だけで競争する必要はないと思います。利用者からの要求に応えられる業者には加点される等の価格以外の要件として勘案することで、細かい価格の差だけでない特色を取り上げられ</p> | <p>に契約を締結する理由としては、人員や場所の確保を行って頂くが必要になる為になります。</p> <p>おっしゃる通りです。実際に契約した年度には、業務を行いませんが、2箇年契約となることから、「長期継続契約」としております。</p> <p>10年間は、落札業者は変わっておりません。</p> <p>人件費等の単価については、その都度見積りも徴収しておりますが、過年度や近隣市町村等の金額も参考に、単価を算出しています。</p> <p>長期継続契約以外にも、債務負担行為を行って予算を確保し、それから入札を行う形で実施しているものもあります。早いと、9月補正で債務負担行為の予算を確保し、12月以前に入札を行うこともあります。</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

るのではないかと思います。

今回の業務は、毎年度行っていたのですか。

設計書に「福利関係諸経費」と記載されていますが、これは具体的にはどのような費用なのですか。

落札業者が提出した内訳書と設計書に記載されている福利関係諸経費の額を比べると、落札業者の内訳書の方が約 40 万円低くなっています。社会保険料で大きく差が生じるものなのでしょうか。

価格競争で、落札する為に可能な限り福利関係諸経費を削ったように思います。内訳書を見比べても、労務単価は設計書と近い金額になっていることから、可能な限り福利関係諸経費を低くしたと考えられます。

先程の長期継続契約について、契約締結を 3 月に行うのは、人員の手配等で、現実的に厳しいのではないかというご意見があったことについてですが、私自身も同様に感じた部分になります。大規模業者が落札するのであれば問題はないでしょうが、準備期間が短いことにより参入障壁が高くなり、入札に対する消極的な問題になっていないかという懸念があります。つまり、3 月に入札が行われ、4 月から請負えることが可能な業者しか落札できないような形になっていないか気になっております。もし、この部分が、3 ヶ月前に行われるのであれば、業者側で

毎年行っている業務になります。

従業員の社会保険料及び管理費が含まれたものになります。

社会保険料の部分での差額はそこまで生じていないと思いますが、管理費の部分で、市が設定した金額と落札業者が設定した金額と差額が生じていると思います。

債務負担行為について 9 月補正を行い、予算を確保しているのであれば、早い時期に入札を行うことは可能です。基本、4 月 1 日から履行開始する長期継続契約案件は、新年度に予算を確保し、1 月から管財課（※現在の財政課。以下「財政課」）に要求決議書を提出する形になります。今年は、財政課から各担当課に要求決議書の提出期限を設けた為、このような形となっておりますが、基本は、債務負担行為を行い、議会で議決を受けた日から、確保した予算の契約行為ができる形となります。

十分に人員の手配ができ、もう一段踏み込んだ入札金額が算出できるのではないかとというようなところに繋がっているようであると、問題が生じると考えております。このような観点から、入札の時期をより早めるということは、技術的に可能なのでしょうか。

10年間落札業者が変わっていないというところで、そこに問題がなかった為、現在の形となっていると考えております。ただ、もう一步進んだ、市民の方に向けたサービスの向上という意味で、プロポーザル方式や、幅広い業者が入札に参加できるように、入札の時期を繰り上げられるような工夫もあるではないかという部分は、市民の感覚からすると、あり得るご意見だと思います。そのようなことも、念頭に置いて進めて頂ければと思います。

| <p>事案 3 : R6 稲水 高田増圧ポンプ場配水池清掃・点検業務委託</p> <p>【抽出理由】落札率が著しく低い為。予定価格の算定根拠、契約額との乖離の原因を伺いたい為。</p>                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>主 管 課 上下水道課</p> <p>発 注 方 法 指名競争入札</p> <p>入 札 日 令和 6 年 11 月 26 日</p> <p>指 名 業 者 数 5 者</p> <p>入札参加者数 5 者</p> <p>予 定 価 格 946,000 円 (税込)</p> <p>落 札 金 額 330,000 円 (税込)</p> <p>落 札 率 34.88%</p>                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 質問・意見                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| <p>落札金額が 33 万円となっていますが、この金額で業務を行えるのですか。</p> <p>このような状況になったのは、初めてなのですか。それとも、過去に今回同様に同業者が低い落札金額で落札していたのでしょうか。</p> <p>令和 5 年度の落札業者は、今回の落札業者と同じ業者なのですか。</p> <p>前回の落札業者は、今回の入札参加業者の中には、入っているのですか。</p> <p>このような状況は、今まで続いているような形なのですか。</p> <p>随意契約で行った理由は、何ですか。</p> <p>今回、本業務が入札監視委員会で審議</p> | <p>業務の出来具合については、仕様書の通りでしたので、問題はないと考えております。</p> <p>令和 5 年度に、履行場所と落札業者は異なりますが、同様の清掃業務の入札を行いました。入札結果としては、予定価格が 154 万円に対して、落札金額が 74 万 8000 円という形となりました。</p> <p>別の業者となります。</p> <p>入っております。</p> <p>はい。令和 5 年度以前の業務については、随意契約で行っています。</p> <p>設計金額が低かった為です。</p> <p>予定価格に関しては、日本水道協会が</p> |

案件に選定された理由としては、この金額で問題がないのかという疑問があるからだと思いますが、この部分についてはどうでしょうか。

結果的には、現状問題は生じていない形となっていますが、実際にこの落札金額で業務を行える理由について、伺っていますか。

例えば、市民の方から同様な質問を受けた場合、市側としては、日本水道協会の積算単価で行っているので問題はないというような説明をされる形になると思います。何故、これ程安い金額で業務を行えるのかというのは、落札業者に対して今後確認する必要があると思います。現状、何も問題がないと思いますが、確認する必要性はあるかと思っています。

近隣の市町村とまとめて行えるということでしたが、具体的な理由があると、市民の方も納得すると思います。例えば、具体的に近隣市町村の A 市、B 町、C 村とまとめて請負っており、業務日も近隣同士に近い時期に行うことができた結果、出張費が抑えられた為といった理由があれば、納得しやすいと思います。このような具体的な部分をもう少し踏み込んで頂ければと思います。

近隣市町村をまとめて請負った結果、安い金額で行えるという理由は、少し考えにくいのではないのでしょうか。1 人 1 日の労務単価が出ているということですので

出しております積算要領を基に設計書を作成している為、問題はないと思っております。落札率の部分に関しましては、業者側の企業努力によるものかと考えております。

明確な理由については、伺っておりません。

昨年度、明確に話を伺ったことではありませんが、稲敷市だけではなく、近隣の市町村の業務も請け負っている為、一気に清掃が行えることが理由の 1 つになっているのかもしれませんが。

当時、清掃業務の立ち会いも行いまして、仕様書に沿った形で、安心安全に清掃を行って頂いておりました。現状、事故等も起きず、問題はなかったと考えており

で、考えにくいと思います。実際に、どのように業務を行っているか確認する必要があると思います。

本業務は、上水道になりますか。

清掃業務の前後で、汚れ等の度合いを数値で確認するのですか。もしくは、目視での確認になるのでしょうか。

先程、立ち会いの話がありましたが、それは、作業中 1 から 10 までの作業の立会を行っているのですか。

契約期間を見ると、3 ヶ月の間に 2 日となっていますが、これは連続した 2 日ということですか。

3 ヶ月に 1 回 2 日かけて、清掃業務を行うという理解でよろしいですか。

7 年に 1 回、1 回を 2 日かけて清掃を行うということですか。

落札業者に落札金額の内訳については、伺っていますか。

次回、入札を行う際に、内訳書も提出してもらう形にするのは、どうでしょうか。前年度に落札した他の業者の際も落札金額が低いということでしたので、内訳書を提出してもらうことで、市側の考えと、

ます。

おっしゃる通りです。

汚れ等については、集中監視室で濁度がないことを確認し、目視で水槽内部の汚れが取れていることも確認しております。水を止めることはできない為、汚れが出ないように、清掃しています。

作業期間の 2 日間ずっと行うわけではありませんが、部分的に立ち合いをしていました。

おっしゃる通りです。

3 ヶ月に 1 回ではなく、1 年に 1 回という形になります。市内に 7 ヶ所の配水池がありまして、7 年に 1 度程度の清掃をするようにしています。

おっしゃる通りです。

伺っておりません。

今年度も同様の業務がありますので、内訳書について提出して頂くようにしたいと思います。

業者側の考えのコストの差が確認できるのではないかと思います。

指名競争入札で行った結果、非常に競争性が働き、安い金額で行って頂いたという面では、市民にとっても、非常に好ましいことだと考えています。一方で、この落札率を市民から見た時に、納得できるのかという問題が出てきてしまいます。市民からすると、他の土木工事等の事例では、予定価格を県単価で設計しており、落札率が 90%台となっている中、本業務では、同様に県単価で設計しているが、落札率が 30%台となっている。積算ソフト等の事情があった場合でも、どちらも県単価を使用しているから妥当と主張をされると、その違いは何なのかと不安になるかと思います。この場合、社会的に適正な金額として請負われているのかという部分の根拠として、具体的な理由や内訳書の提出といったフォローアップの必要性が、今後は出てくるのではないかと考えています。

| <p>事案 4 : R7～R11 年度 稲敷市水道施設運転管理業務委託</p> <p>【抽出理由】 予定価格・落札率ともに高く、委託期間も長期である為。</p>                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>主 管 課 上下水道課</p> <p>発 注 方 法 随意契約</p> <p>見 積 執 行 日 令和 7 年 1 月 17 日</p> <p>見積り合わせ参加者数 1 者</p> <p>予 定 価 格 415,085,000 円 (税込)</p> <p>落 札 金 額 415,074,000 円 (税込)</p> <p>落 札 率 99.99%</p>                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 意見                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>2 回入札執行を行ったが、入札中止となり、随意契約に移行したとの説明でしたが、入札中止になった原因等はどのように考えていますか。</p> <p>2 回、指名入札を行った際は、何者が参加したのですか。</p> <p>指名業者が辞退した主な理由としては、先程説明頂いた、今年度から新たな業務内容を追加したことなののでしょうか。</p> <p>2 回目の入札時に予定価格が増額された件について、予定価格を設定する時は、県単価を参照する為、一義的に算出されて、調整の余地がないように考えていましたが、そうではないということでしょうか。</p> <p>業務も増やした分、金額も増えていったということですか。</p> | <p>原因に関しては、5 年契約となる為、金額も規模が大きくなったことが 1 つと考えております。また、今年度から、運転管理業務以外に、施設の保守点検等の業務内容を追加したことで、指名業者が積算に苦慮したのではないかと考えています。</p> <p>2 回とも 10 者指名しました。</p> <p>入札辞退の理由としては、人員の確保が困難なことや採算が合わないといった内容になっておりました。2 回目の入札では予定価格を増額しました。</p> <p>業務内容に月 1 回の水質検査業務を追加して、設計金額を増額しました。</p> <p>おっしゃる通りです。</p> |

何故、2 回目の入札の際に、水質検査業務を追加したのですか。業務内容として、必要な場合、最初の入札から入れなければいけないと思いますが、この部分については、どのようにお考えですか。

2 回の入札の際の辞退理由は人員の確保が困難なことや採算が合わないとのことでしたが、人件費単価が見合わないという意味合いに捉えましたが、合っていますか。

履行場所が全てで 12 箇所ということですが、地区で 2 つに分け、入札案件を 2 件にすることで、2 業者で分け合っていることも、可能ではないでしょうか。

稲敷市よりも人口規模が大きい市町村でも、同様の案件は、一括して 1 業者に委託している形になっているのですか。

稲敷市に統合される前の旧市町村の施設は再利用できないのでしょうか。再利用が可能だった場合、サブセンターとして、活用できれば、先程ご意見がありました 2 地区に業務を分割した際に、担当業者の把握ができ、問題点となっていた非常時での連携を改善できるのではないのでしょうか。

市役所職員を配置するのは、難しいのですか。

水質検査業務は、1 回目から業務内容に入れる予定でしたが、職員でも行える為入れませんでした。

1 回目の入札が中止になったことで、設計内容を再検討した結果、水質検査業務を追加しました。

金額面の部分より人員の確保が困難だったのではないかと思います。本業務は 24 時間 365 日、施設の運転管理を行うものであり、日勤者と夜勤者を確保することが苦労したのではないかと考えております。

事業者は主に江戸崎の事務所で 24 時間体制を取っており、各施設に人員を派遣しております。2 業者ですと、非常時に連携が取れるのか不安な部分がある為、1 者で管理したいと考えております。

近隣市町村に伺う中では、概ね 1 者となっています。

現在のところ、江戸崎の事務所を中心的に行っておりまして、他の地区（桜川・新利根・東地区）に関しては、人員を配置していない状況になります。点検の際に行く程度の為、難しいと思います。

それは、難しいです。

|                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>近隣の市町村と一体になって、広域組合のような形で依頼することによって、少ない人員の中でも効率良く行ってもらえるような方向で考える必要性が出てくるのでしょうか。</p> <p>人口減少や労働人口の減少等の大きな問題も関係しつつ、市民からすると、水というのは生命・身体に直結する重要な問題であるという一方で、大切なものだからといって金額の競争性が保たれなくていいのかという部分は、非常に難しいバランスを取る必要があると思います。そのような中で、本日の議論を踏まえて、進めて頂ければと思います。</p> | <p>現在、3年後に県が主体となって、広域化を行う協議が始まっております。同様の問題は他市町村も抱えていると思いますので、今後広域化に伴って検討していきます。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|

| <p>事案 5：稲敷市立江戸崎小学校体育館消火栓配管緊急復旧工事</p> <p>【抽出理由】 緊急を要する工事の場合の契約手続きフローを確認したい為。（通常時と異なり、価格競争よりも優先する事項があるかと想定しているが、それがルール化されているか）。</p> |                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>主 管 課</p> <p>発 注 方 法</p> <p>見 積 執 行 日</p> <p>見積り合わせ参加者数</p> <p>予 定 価 格</p> <p>落 札 金 額</p> <p>落 札 率</p>                         | <p>教育政策課</p> <p>随意契約</p> <p>令和 6 年 11 月 14 日</p> <p>1 者</p> <p>1,595,000 円（税込）</p> <p>1,575,200 円（税込）</p> <p>98.76%</p> |
| 質問・意見                                                                                                                             | 回答                                                                                                                      |
| <p>見積参加者数が1者となっていますが、2者から見積を徴収しなかった理由は、緊急性がある為ですか。</p>                                                                            | <p>理由としては、緊急性もありますが、市内業者の中で、消防設備工事と管工事の両方を登録している業者が、1者のみだったことも理由の1つになります。</p>                                           |
| <p>随意契約の理由について、「消火管からの漏水」と記載されていますが、これは消火管からの水漏れということですか。</p>                                                                     | <p>おっしゃる通りです。</p>                                                                                                       |
| <p>本業務の前の消火管の工事は、同じ業者が行ったのですか。</p>                                                                                                | <p>恐らく、稲敷市の合併前に施工していると思われますので、実際にどの業者が行ったのかというのは、この場で資料がない為、申し訳ございませんが、分からない状態になります。恐らくですが、同業者ではないと思われます。</p>           |
| <p>緊急性がある工事だったとのことでしたが、契約事務の流れとしては、想定額を積算し、登録業者に見積を徴収し、契約を締結するといったような流れでしょうか。</p>                                                 | <p>おっしゃる通りです。</p>                                                                                                       |
| <p>仮に、見積金額が想定額を超えてしまった場合は、どのようなになるのでしょうか。</p>                                                                                     | <p>随意契約となりますので、再度見積を徴収し、想定額内で契約する形となります。</p>                                                                            |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>か。</p> <p>実際に、消火管の漏水が発覚してから、工事が完了するまでに、どのぐらいの期間がかかったのですか。要求決議書は、10月28日に提出されているので、3日程度前には、漏水が発覚しており、開始から約1カ月で工事が完了できたという形になるのでしょうか。</p> <p>漏水箇所を特定する為の調査業務というのは、どのようにして選定したのですか。本業務の契約とは別の契約で行っているのでしょうか。</p> <p>随意契約で行ったことで、漏水の発覚から1ヶ月程度で工事が完了したとのことでしたが、仮に入札をした場合には、どの程度の期間がかかっていたと予測されますか。</p> <p>緊急性がある事案について、実際にこのような方法を取ることによって、期間を短縮でき、かつ、金額の妥当性が確保できる形で行われたと考えました。このような形で進めていただければと思います。</p> | <p>す。</p> <p>工期が11月15日から12月6日となり、12月6日に完了届が提出され、当日に検査を実施している形となります。</p> <p>流れと致しましては、消防設備点検業務を実施している受託者から漏水の指摘を受けました。指摘を受け、受託者に漏水箇所の特定調査の相談を致しましたが、受託者では、点検以外は専門外の為、行うことができないということになってしまい、施設について熟知している本業務の受託者に相談し、漏水調査を依頼した形となります。実際に調査をした結果、地中に埋まっている配管のある程度の部分までしか分からない状態となり、部分的な補修が難しい為、最終的に配管の更新が望ましいということで、改修工事を契約して完成に至りました。</p> <p>入札で行った場合は、2ヶ月程度の期間がかかると思われます。</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| <p>事案 6：令和 7 年度稲敷市英語検定受験対策講座実施業務委託</p> <p>【抽出理由】 随意契約の中でも、落札率が最も低い為。</p>                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>主 管 課 指導室</p> <p>発 注 方 法 随意契約（公募型プロポーザル方式）</p> <p>見 積 執 行 日 令和 7 年 3 月 17 日</p> <p>企画提案参加者数 2 者</p> <p>予 定 価 格 5,390,000 円（税込）</p> <p>落 札 金 額 4,400,000 円（税込）</p> <p>落 札 率 81.68%</p>             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 質問・意見                                                                                                                                                                                                | 回答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <p>落札業者についてですが、どのような業者なのですか。</p> <p>「英検 3 級以上の取得割合を 40%以上とする」となっていますが、これは、計画等に決まっているのですか。</p> <p>現在の取得率は何%ですか。</p> <p>昨年もこの事業を実施したのでしょうか。</p> <p>昨年度はどの業者が落札しているのですか。</p> <p>P105 のプロポーザル評価集計表を見</p> | <p>落札業者は、入札参加資格者の登録はされていない業者ですが、市内で学習塾を運営している業者となっております。</p> <p>今期の総合計画において、教育部門の中で、中学校 3 年生が卒業までに英検 3 級以上を取得する割合を 4 割とし、その 4 割を達成することを目的にしております。</p> <p>実施前の取得率は、10%台となっております。本業務は、昨年度から実施致しまして、現在は 23.4%となっており、今年度の事業に入っている状況でございます。</p> <p>この事業は、令和 6 年度から実施しておりまして、昨年も同様にプロポーザル方式で実施しております。</p> <p>今回と別の業者が落札した形になります。</p> <p>契約上のところで、このような差が発</p> |

ると、A 委員と E 委員の志向が全く違う形になっておりまして、結果として非常に僅差で 1.4 点という点差で選ばれています。A 委員と E 委員の認識の違いの調整はされたのでしょうか。

A 委員と E 委員の全く違った志向を互いに知る機会として、話し合い等を行うべきなのではないかと思います。今回のような僅差で決まる場合程、点数だけで決めてしまうのは良いのかという不安があります。

委員間での意見のすり合わせを導入するのは、ルール上難しいということでしょうか。

委員自身がつけた点数や評価を前提と

生した場合、他の自治体で行っている事例を調べたところ、一番高い点数と一番低い点数を減らすという方法があるようですが、稲敷市では、そのような方法を取り入れていない為、全ての評価をそのまま生かしております。何故、このような結果になったのかと考えてみると、前年度の落札業者も今回のプロポーザルに参加しておりまして、前受託者に関しては、所属の講師が 2 万人という規模が大きい業者となっています。一方で、落札業者に関しては、市内と近隣市町村で学習塾を経営している個人の学習塾になっておりまして、英検対策講座の実施手法につきましては、差が生じてしまうような説明になっていました。この事を踏まえて、このような結果になったのではないかと考えております。

制度やガイドライン等の話になってくるかと思いますが、このような特異点が出た場合、その特異点を除外することは、担当課では行えない形となっています。ただ、別の方法として、審査員の人数を増やすことによって、点数の平均値は均等化されると思います。毎年、同様な形でプロポーザル方式で行っていく事業になると思いますので、担当課として、対策ができる部分は検討していきたいと思います。

基本、行わないという形となっております。

財政課のガイドライン等を参考に行っ

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| <p>した意見交換は行われたいとのことです。例えば、プレゼンテーションが終了し、採点をするまでの間にプレゼンテーションの内容等に関する委員の意見交換というのは、プロポーザル型方式でも行えると思います。具体的な点数を基に、ある点数を増減させるような形ですり合わせるとなると、採点の仕方としては問題が出てくるとは思います。具体的な点数を前提としなくても、率直にプレゼンテーションを受けた後の意見や感想の交換をし、それを基に個別に採点して頂くような機会はあるといいと感じました。</p> <p>実際に事業の運用を始めてから顕著な結果が出ているところですし、自治体の子供の教育に対する投資としては非常に意義のある事案だと考えています。ただ、もっと良くなる余地はあると思いますので、さらなる高みを目指して行ってもらいたいと思います。</p> | <p>しておりますので、その部分に関しては、財政課と相談しながら、進めていきたいと思っています。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|